

開催日 8月1日(日)
種別
 ● 団体戦：一般男女
 ● 混合ダブルス：シングルスではなく抽選での混合ダブルス(リーグ戦)
参加費(傷害保険料含む)
 ● 団体 1チーム1,500円
 ● 個人 1人500円(中学生以下200円)
申込 7月9日(金)まで(休館日、土・日曜日以外の祝日除く)に所定の申込用紙に必要事項を記入し参加費を添えてスポーツ推進課へ



**市民競技大会
卓球**

スポーツ

スポーツ推進課 (J:COM末広体育館 [市民総合体育館] 内)
 ☎462-2000 Fax469-2286
 受付：午前9時～午後5時15分
 (休館日と土・日曜日以外の祝日除く)
 ※電話はおかけまちがいのないようにご注意ください。

J:COM末広体育館 (市民総合体育館)・健康増進センターをご利用ください!

利用者	プール	トレーニング	ランニング
一般 (高校生以上)	1回620円 (月極6,200円)	1回410円 (月極4,100円)	1回210円
高齢者 (60歳以上の 市内在住者)	1回310円 (月極3,100円)	1回210円 (月極2,100円) ※小学生以下利用不可	1回110円
3歳～中学生			

障害者手帳を持っている人は無料 ※表示料金はすべて税込です。

問合せ先 健康増進センター
 (☎469-1000 Fax469-6666
<http://www.izumisano-c.jp/kenko/>)



モンゴルの世界遺産

問合せ先 自治振興課

国際交流員オギー通信
Сайн байна уу
サインバイノー!
 (モンゴル語で「こんにちは」)

地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物は世界遺産です。現在を生きる世界中の人々が過去から引き継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産です。世界遺産には文化遺産、自然遺産、複合遺産の3種類がありますが、今回はモンゴルにある四つの世界遺産をご紹介します。

【ウヴス・ヌール盆地 (2003年)】

「ウヴス・ヌール盆地」はモンゴルからロシアの一部にまたがる総面積約9,000km²におよび、夏は40℃を超える世界最北の砂漠、冬は-60℃近くまで冷え込む世界最南のツンドラというシベリア・中央アジアの気候・地理的な境界線にもなっている貴重な場所です。ウヴス・ヌール盆地にあるウヴス湖は塩分が濃くて浅く、かつて数千年前にこの一帯にも海が広がっていたときの名残です。



◀ オルホン渓谷

【オルホン渓谷の文化的景観 (2004年)】

「オルホン渓谷の文化的景観」は首都のウランバートルから西へ約360km、モンゴルの中央部を流れるオルホン川両岸に広がる渓谷のことです。遊牧民の伝統が二千年以上受け継がれている貴重な世界遺産です。オルホン渓谷には、オルホン碑文、ハル・バルガス遺跡、チンギスハーン的首都ハル・ホリンの遺跡、エルデネ・ゾー僧院などが残されています。

【アルタイ山脈の岩絵群 (2011年)】

「アルタイ山脈の岩絵群」はモンゴル・アルタイ山脈のバヤンウルギー県にある3カ所の岩絵遺跡群のことです。紀元前一万二千年頃から9世紀頃までの一万二千年にわたり、モンゴルでどのような文明が発達して変化してきたかを示す証拠となりました。バヤンウルギー県周辺に住んできた人々が狩猟生活から遊牧生活へと移り変わる様子やスキタイ族やトルコ族の歴史を見て取ることができます。



▶ アルタイ山脈の岩絵

【大ブルハン・ハルドゥン山とその周辺の神聖な景観 (2015年)】

モンゴルの北部にあるヘンティ県ヘンティ山脈に位置する「ブルハン・ハルドゥン」は「神の山」という意味を表しますが、モンゴル族発祥の地とされており、聖地になっています。「ブルハン・ハルドゥン」はモンゴルの英雄チンギスハーンの家郷であり、墓所もあると言われています。文化的にも歴史的にも貴重な場所です。



▶ ブルハン・ハルドゥン



◀ 国際交流員のオギー

今月のモンゴル語
 соёл(ソヨル)：文化
 түүх(トゥーフ)：歴史
 уламжлал(ウラムジラル)：伝統